



快足漢口突入に次ぎ 武昌縣城も猛攻占領

江上艦隊租界前に雄姿現す

「南京二十六日」中支軍午前十時發表、昨日葛家店を攻略し壯烈なる夜間追撃を敢行したる我が軍は本二十六日午前五時武昌に突入、續いて城内を掃蕩中なり

(東京廿六日) 大本營陸海軍部廿五日午後九時三十分陸海軍部公表、我軍は廿五日午後四時三十分陸海軍協力して漢口の一角を奪い、上海廿六日漢口よりの外人側報道によれば二十

(上海廿六日) 漢口よりの外人側報道によれば廿

六日午后五時墮日本の江上艦隊は漢口租界前の江上にその雄姿をあらわした

(漢口廿六日) 我が漢口突入部隊は着々掃蕩の歩を進め午后三時半日本租界を完全に確保した

(南京廿六日) 中支軍午前九時發表、我が江北快速進撃部隊は二十五日午后七時漢口東北端を占領し戦果を擴大中なり

(漢口廿六日) 江北進撃部隊は楚敵を掃蕩しつゝ微弱を續け廿六日正午その先鋒は早くも日本租界東方

一キロ半の江岸停車場を占領、ひき續き進撃中

(東京廿六日) 大本營陸軍部午後十時半发表、先に湖

北省布設を古田矢田の江

岸地を前進廿五日夕刻ついに漢口東北部に突入せり

(希水廿五日) さきに光州を突破せる古田矢田の江

敗退えつ漢線に退却し

我遮断部隊猛追せん滅せん

(九江廿六日) 皇軍の漢口大軍突入により散を乱した敵

大軍はえつ漢線一帯に亘り総

々總退却を續けてゐる、これ

等の退却の握護のため、愈々強化され、督戰隊の嚴命に

止むなく列車自動車を乗てた

大部隊は雲霞の如く開闊地に

より死物狂ひの抵抗を續けてゐる、敵艦の意氣に燃える

我えつ漢線遮断部隊は各地

死隊は二十六日午後四時四十

の日、軍旗を中心にして

三分德安縣城東北方城壁に感

待望の日章旗翻る

彼我猛烈に激戦中

(徳安對學二十六日) 八閘敵の日章旗を掲げ、徳安に待

天皇陛下に奏上申しあげたところ、陛下には皇軍

將兵の苦勞を傳へられたもの忠烈を嘉せられ、この輝かしい戦果を殊の外満悦あらせられた

御由に承る

漢口陥落に

畏し御嘉尙ぜらる

未だ終局に到らず

大本營海軍報道部長談

國民の協力を要望

政府の態度中外に宣言せん

(東京廿六日) 大本營軍報道部長談

日本は敵の第二の首都として全力を發揮せば必ず勝利を収める

敵は第一の軍事的優位性を確立し

して終始陸軍部隊と緊密な連絡を保持しながら進撃の決意を固め、當り左側に事變が漢口陥落により

於て文書を起草中であるが、

大本營軍報道部長談

は新興支那部政権を支持する

結果として敵の軍事的立場に

この機会に今後の新事態に處

支軍放火で火災

義村取吉

(廣州廿六日) 調査水道は

調査する林田・山崎兩部隊は

南佛山鎮

大坂屋旅館

の如きである

德安縣城に

我軍猛烈に激戦中

(徳安對學二十六日) 八閘敵の日章旗を掲げ、徳安に待

天皇陛下に奏上申しあげたところ、陛下には皇軍

將兵の苦勞を傳へられたもの忠烈を嘉せられ、この輝かしい戦果を殊の外満悦あらせられた

御由に承る

秋父宮殿下

我軍猛烈に激戦中

(東京廿六日) 二十六日午前四時半我が軍漢口

本支軍は南支上陸作戦の帷幕

に大本營參謀として親しく御

參謀はされ御武勳誥たる

秋父宮殿下には二十六日午後

四時十五分羽田空港に着

機にて御歸還遊ばれた

(東京廿六日) 世界史に

えつ漢線の左翼橋樁をなす

の如き突進を續けてゐる

門より城内に入り、城門高く日章旗を揚げ歓喜に満ちた萬歳の聲は城内に轟き渡つた

十六日午前七時臺灣飛行出發、

十六日午前八時臺灣飛行出發、

十六日午前九時臺灣飛行出發、

十六日午前十時臺灣飛行出發、

十六日午前十一時臺灣飛行出發、

十六日午前十二時臺灣飛行出發、

十六日午前十三時臺灣飛行出發、

十六日午前十四時臺灣飛行出發、

十六日午前十五時臺灣飛行出發、

十六日午前十六時臺灣飛行出發、

十六日午前十七時臺灣飛行出發、

十六日午前十八時臺灣飛行出發、

十六日午前十九時臺灣飛行出發、

十六日午前二十時臺灣飛行出發、

十六日午前二十一時臺灣飛行出發、

十六日午前二十二時臺灣飛行出發、

十六日午前二十三時臺灣飛行出發、

十六日午前二十四時臺灣飛行出發、

十六日午前二十五時臺灣飛行出發、

十六日午前二十六時臺灣飛行出發、

十六日午前二十七時臺灣飛行出發、

十六日午前二十八時臺灣飛行出發、

十六日午前二十九時臺灣飛行出發、

十六日午前三十時臺灣飛行出發、

十六日午前三十一時臺灣飛行出發、

十六日午前三十二時臺灣飛行出發、

十六日午前三十三時臺灣飛行出發、

十六日午前三十四時臺灣飛行出發、

十六日午前三十五時臺灣飛行出發、

十六日午前三十六時臺灣飛行出發、

十六日午前三十七時臺灣飛行出發、

十六日午前三十八時臺灣飛行出發、

十六日午前三十九時臺灣飛行出發、

十六日午前四十時臺灣飛行出發、

十六日午前四十一時臺灣飛行出發、

我軍猛烈に激戦中

我軍猛烈に激戦中

(東京廿六日) 二十六日午前四時半我が軍漢口

本支軍は南支上陸作戦の帷幕

に大本營參謀として親しく御

參謀はされ御武勳誥たる

秋父宮殿下には二十六日午後

四時十五分羽田空港に着

機にて御歸還遊ばれた

(東京廿六日) 世界史に

えつ漢線の左翼橋樁をなす

の如き突進を續けてゐる

門より城内に入り、城門高く日章旗を揚げ歓喜に満ちた萬歳の聲は城内に轟き渡つた

十六日午前七時臺灣飛行出發、

十六日午前八時臺灣飛行出發、

十六日午前九時臺灣飛行出發、

十六日午前十時臺灣飛行出發、

十六日午前十一時臺灣飛行出發、

十六日午前十二時臺灣飛行出發、

十六日午前十三時臺灣飛行出發、

十六日午前十四時臺灣飛行出發、

十六日午前十五時臺灣飛行出發、

十六日午前十六時臺灣飛行出發、

十六日午前十七時臺灣飛行出發、

十六日午前十八時臺灣飛行出發、

十六日午前十九時臺灣飛行出發、

十六日午前二十時臺灣飛行出發、

十六日午前二十一時臺灣飛行出發、

十六日午前二十二時臺灣飛行出發、

十六日午前二十三時臺灣飛行出發、

十六日午前二十四時臺灣飛行出發、

十六日午前二十五時臺灣飛行出發、

十六日午前二十六時臺灣飛行出發、

十六日午前二十七時臺灣飛行出發、

十六日午前二十八時臺灣飛行出發、

十六日午前二十九時臺灣飛行出發、

十六日午前三十時臺灣飛行出發、

十六日午前三十一時臺灣飛行出發、

十六日午前三十二時臺灣飛行出發、

十六日午前三十三時臺灣飛行出發、

十六日午前三十四時臺灣飛行出發、

十六日午前三十五時臺灣飛行出發、

十六日午前三十六時臺灣飛行出發、

